

# Development of an assessment tool for matching of assistive technology devices for meal support: validity and reliability study

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/45501">http://hdl.handle.net/2297/45501</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



平成 28 年 2 月 17 日

## 博士論文審査結果報告書

報告番号 \_\_\_\_\_

学籍番号 0827022019 \_\_\_\_\_

氏 名 濱 昌代 \_\_\_\_\_

論文審査員

主 査 (職名) 能登谷 晶子 (教授) 印

副 査 (職名) 柴田 克之 (教授) 印

副 査 (職名) 少作 隆子 (教授) 印

論文題名 Development of an assessment tool for matching of assistive technology devices for meal support: validity and reliability study (食事動作のための福祉用具の適合評価表の作成- 妥当性と信頼性の検討)

### 【論文内容の要旨】

福祉用具は高齢者や障がい者の自立を助け、介護負担を軽減する役割をもつ道具であり、活用件数は年々増加傾向にある。その一方で利用者に適合していない用具を使用しているケースが多い。福祉用具の評価法は、先行研究では心理的效果を測定する QUEST や PIADS があるが、利用者の身体状況や使用環境への適合度を客観的に判断するための評価法は、国内では存在しない。本研究の目的は、使用頻度が高い食事用具に限定した適合評価表を作成し、その妥当性と信頼性を検証すること。方法：予め QUEST の評価項目に基づき 24 項目を選出したのち、福祉用具に関する専門知識を有する作業療法士 40 名を対象にアンケート調査した。調査項目は評価項目の重要度について 3 段階で判定してもらい、さらに重要性に対する主観的な判断を定量化するために、同意の割合を算出した結果とコメントを質的に分類し、項目の内容的妥当性を検討した。結果：用具の適合に関する評価項目の重要度は、回答のあった 20 名の作業療法士から「大変重要」の回答を得た 45%以上の 18 項目を選ばれ、さらに項目のカテゴリ化を行い、10 項目に選出した。45%以上の内容的妥当性の高い 10 項目と 4 つの特性（動作、心理、用具、維持管理）で構成された適合評価表を作成することができた。適合評価表と QUEST との基準関連妥当性は重さ、使い心地、操作性、耐久性の 4 項目で高い相関を示した。また適合評価表による再検査および検者間信頼性は共に高い一致性 (K 係数 0.9 以上) を示した。今回作成した適合評価表は、支援者が福祉用具の適合状況を、実際の使用場面を観察して評価するため、身体機能や動作能力と福祉用具の関連から、最適な福祉用具の選出に役立つことが示された。

### 【審査結果の要旨】

本論文は障がい者が、日常用いている福祉用具（食事）の適合度について、4 つの特性に基づき、客観的な視座で簡便に評価できることを明示した研究である。以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士（保健学）の学位を授与するに値すると評価する。